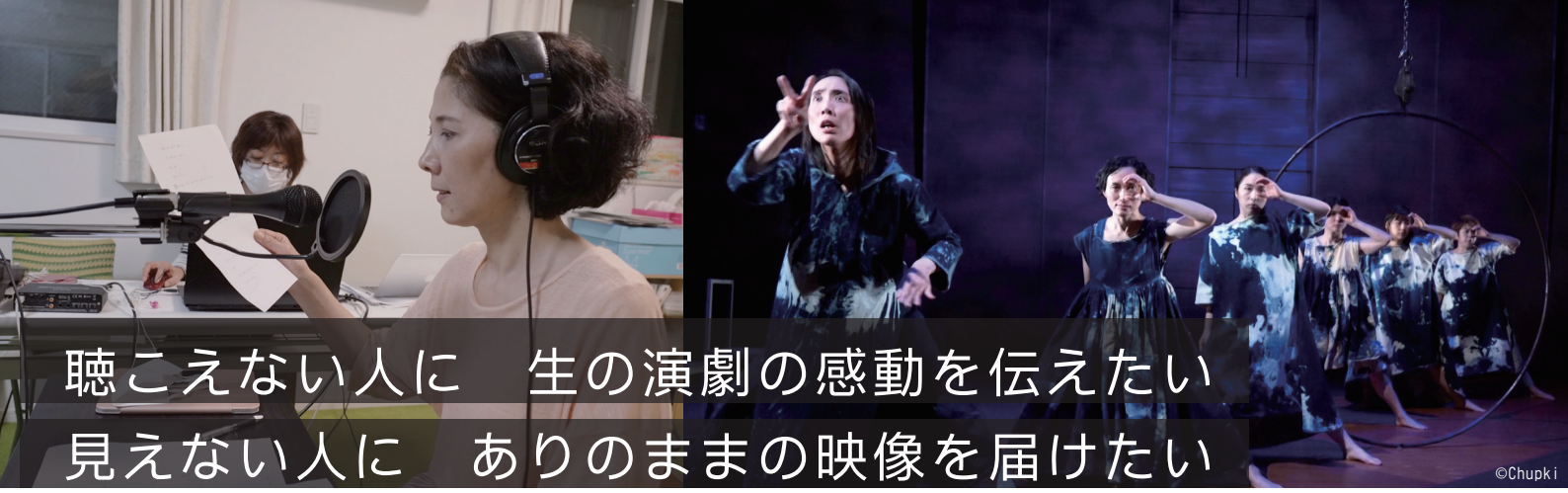

映画『こころの通訳者たち』作品紹介

見えない人、聴こえない人、車いすの人、小さなお子様を連れた人、
誰でも一緒に映画を楽しむことができる日本で唯一のユニバーサルシアターの
シネマ・チュプキ・タバタでは、上映する全ての映画に音声ガイドと字幕をつけている。
そんな映画館にある相談が持ち込まれたことから 2021 年 9 月、本作の撮影がスタートした。
耳の聴こえない人にも演劇を楽しんでもらうために挑んだ、
３人の舞台手話通訳者たちの記録。
その映像を目の見えない人にも伝えられないか？
見えない人に「手話」を伝えるには――。

コロナ禍のなかで進行した、見える人、見えない人、聴こえる人、聴こえない人たち
個性豊かな顔ぶれによる「音声ガイド」づくり。
ちょっと無茶かも・・・と思われたアイデアから
見えない人と聴こえない人にも対話が生まれ、互いに知らなかったことに気づいていく。
演劇との架け橋になろうとした舞台手話通訳者たちの想いを伝えるようにと、
壁にぶつかりながらも音声ガイドづくりを「諦めない」メンバーたちの想いが重なり、
いつしか言語を超え、障害のあるなしを超えて、＜こころ＞のバトンを繋いでいく。

平塚千穂子氏　プロフィール

1972 年生まれ、東京都出身。
2001 年にバリアフリー映画鑑賞推進団体 City Lights を設立。
以後、視覚障害者の映画鑑賞環境づくりに従事。2016 年日本初のユニバーサルシアター CINEMA Chupki TABATA を設立。その功績が讃えられ、第 24 回ヘレンケラーサリバン賞を受賞。本作にも音声ガイド制作者として出演。本作プロデューサー。
2022 年山路ふみ子映画賞で福祉賞受賞。

主催：文化庁・島根県・（公財）しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）
共催：SHIMANE CINEMA ONOZAWA
協力：島根県障がい者文化芸術活動支援センター アートベースしまねいろ
・Atelier103・ヒビノデザイン・
文化庁委託事業
令和４年度障害者等による文化芸術活動推進事業

お客様へのお願い

マスク
会場でのマスク着用をお願いしています

検温
入場前の検温をお願いしています

※37．5 度以上のお客様は、ご入場をご遠慮いただく場合がございます